

はじめに

グローバル化の進展、技術革新、国内における少子高齢化等に伴い、将来の予測が困難な時代の中で、新しい価値を創り上げていく力を育てることが必要とされています。

そのため、「子供達が未来社会を切り拓くための資質能力」を一層確実に育成することを目指し、幼稚園教育要領及び令和2年4月から全面実施される新学習指導要領が着実に実施されることが求められています。

これを受け、教育センターにおきましては、これまで本市が取り組んできた教育を継承することに加え、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進や道德の「特別の教科化」、「プログラミング教育」の必修化、小学校における「外国語活動」及び「外国語科」の導入、「カリキュラム・マネジメント」等、新学習指導要領全面実施の移行期を意識した教職員研修及び調査研究活動にも取り組んでまいりました。

また、研究グループでは、学校・園の教職員のみなさまに研究員を委嘱し、スーパーバイザーの先生方のご指導の下に、調査・研究を進めてまいりました。

今年度は、昨年度に引き続き、

- ① 学校行事等におけるつまずきと支援の方法について研究する「発達理解」
- ② プログラミング教育の実践と ICT 機器の活用について研究する「ICT 活用」
- ③ 小・中連携を意識した新学習指導要領における英語教育の在り方について研究する「英語教育」
- ④ 考える道德の授業と評価について研究する「道德教育」
- ⑤ カリキュラム・マネジメントを取り入れた「主体的・対話的で深い学び」に迫る授業づくりについて研究する「授業づくり」
- ⑥ 不登校を未然に防止する取り組みとして自己有用感の向上について研究する「不登校対応」
- ⑦ 小・中学校におけるがんに関する教育について研究する「健康・安全」

の7つの研究グループにおいて、スーパーバイザーの先生の御助言を得ながら、研究員の方々に熱心に研究に取り組んでいただき、ここに、令和元年度(2019年度)の紀要114号「研究報告書」として、それぞれの成果をまとめることができました。

これらの研究成果を各校・園での教育活動や実践の参考としてご活用いただけたら幸いです。

今後とも、吹田の子供達が未来を切り拓くために求められている「総合的人間力」の育成に向けた教育実践を進めるため、教育センターとして更なる学校・園支援に努めると共に、今日的教育課題についての調査・研究等の推進に取り組み、その成果を発信してまいります。

最後になりましたが、スーパーバイザーの先生方をはじめ、御理解と御協力をいただいた学校・園の関係者のみなさま、そして研究員として委嘱させていただいた教職員のみなさまに、厚く御礼を申し上げます。

令和2年(2020年)3月

吹田市立教育センター
所長 草場 敦子